# 安全データシート

## セクション1： 化学物質/混合物および会社/企業情報

### 物質または混合物情報

製品コード　C10445COMPONENTB
製品名　Cumene hydroperoxide

### 会社/企業情報

Life Technologies
5791 Van Allen Way
PO Box 6482
Carlsbad, CA 92008
+1 760 603 7200

〒108-0023 東京都港区芝浦四丁目2番8号
住友不動産三田ツインビル東館
ライフテクノロジーズジャパン株式会社
TEL 03(6832)9300

24時間対応の緊急連絡先

866-536-0631
301-431-8585
Outside of the U.S. +1-301-431-8585

Country specific Emergency Number (if available):
CHEMTREC Japan (Tokyo)　+(81)-345209637 （ 日本語 ）

研究上の使用のみ
. 人間または動物の診断上または治療上の使用は意図されていない.

## セクション2： 危険有害性の要約

### GHS - 分類

注意喚起語
危険

健康危険有害性

| | |
|---|---|
| 吸引性呼吸器有害性 | 区分 1 |
| 急性経口毒性 | 区分 4 |

| | |
|---|---|
| 急性経皮毒性 | 区分 4 |
| 急性吸入毒性－蒸気 | 区分 3 |
| 皮膚腐食性及び皮膚刺激性 | 区分 1 B |
| 眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性 | 区分 1 |
| 特定の臓器/全身毒性（単回ばく露） | 区分 3 |
| 特定の臓器/全身毒性（反復ばく露） | 区分 2 |

| | |
|---|---|
| 発がん性 | 区分 2 |

物理的危険有害性

| | |
|---|---|
| GHS 物理的危険有害性 区分名 | 引火性液体 |
| GHS物理的危険有害性区分番号 | 区分 4 |
| GHS Physical Hazard 2 | 有機過酸化物 |
| GHS Physical Hazard Category Number 2 | タイプF |

危険有害性情報
H227 - 引火性液体
H242 - 熱すると火災のおそれ
H302 + H312 - 飲み込んだり、皮膚に接触すると有害
H331 - 吸入すると有毒
H314 - 重篤な皮膚の薬傷及び眼の損傷
H351 - 発がんのおそれの疑い
H335 - 呼吸器への刺激のおそれ
H373 - 長期にわたる、又は反復ばく露による臓器の障害のおそれ
H304 - 飲み込んで気道に侵入すると生命に危険のおそれ
H401 - 水性生物に対して毒性
H411 - 長期継続的影響によって水生生物に毒性

注意書き
P201 - 使用前に取扱説明書を入手すること
P210 - 熱／火花／裸火／高温のもののような着火源から遠ざけること。-禁煙
P260 - 粉じん／煙／ガス／ミスト／スプレーを吸入しないこと
P301 + P330 + P331 - 飲み込んだ場合：口をすすぐこと。無理に吐かせないこと
P303 + P361 + P353 - 皮膚（または髪）に付着した場合: 汚染された衣類を直ちに全て脱ぐこと/取り除くこと。皮膚を流水/シャワーで洗うこと
P305 + P351 + P338 - 眼に入った場合：水で数分間注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること
P304 + P340 - 吸入した場合：空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること
P273 - 環境への放出を避けること
P280 - 保護手袋／保護衣／保護眼鏡／保護面を使用すること

健康への潜在的な影響

| | |
|---|---|
| 眼 | 眼に重度の傷害を与えるリスクがある. |
| 皮膚 | 皮膚に接触すると有害. 火傷を引き起こす. |
| 吸入 | 吸入すると有毒である. |
| 経口摂取 | 飲み込むと有害. |

特定の影響

| | |
|---|---|
| 発がん影響 | 該当せず. |
| 変異原性影響 | 該当せず. |
| 生殖毒性 | 該当せず. |
| 感作 | 該当せず. |
| 標的臓器影響 | 肺. |

## セクション3： 組成および成分情報

| 化学物質名 | CAS番号 | 重量パーセント |
|---|---|---|
| 1-メチル-1-フェニルエチル＝ヒドロペルオキシド | 80-15-9 | 60-100 |

当製品は危険有害ではない
.

## セクション4： 応急処置

皮膚接触　直ちに眼を少なくとも15分間水で洗浄すること．汚染された衣類を全て脱ぎ、再使用する場合には洗濯をすること．直ちに医師の手当てを受ける必要がある．

眼との接触　少なくとも15分間、まぶたの裏側まで多量の水で洗うこと．直ちに医師の手当てを受ける必要がある．

経口摂取　直ちに医師または毒物センターに連絡すること．意識のない者には、何も口から与えてはならない．医師の指示がない場合は、無理に吐かせないこと．

吸入　空気の新鮮な場所に移すこと．呼吸していない場合は人工呼吸を行うこと．直ちに医師または毒物センターに連絡すること．

医師に対する注意事項　症状に応じて治療すること．

## セクション5： 火災時の措置

適切な消火剤　水噴霧．二酸化炭素（CO2）．泡消火剤．粉末消火剤．耐アルコール泡消火剤．

消火を行う者のための特別な保護具　自給式呼吸装置および保護服を着用すること．

## セクション6： 漏出時の措置

個人に対する注意事項　個人用保護具を使用すること．

浄化方法　不活性吸収剤に吸収させます．

環境に対する注意事項

安全に行えるなら、それ以上の漏出または漏洩を防ぐこと．製品が排水路に入らないようにすること．

詳細情報についてはセクション12を参照のこと．

## セクション7： 取り扱い及び保管上の注意

取り扱い　常に推奨される個人防護用具を着用してください．皮膚および眼との接触を避ける．換気が不十分な場合、適切な呼吸保護具を着用する．すべての着火源を排除すること．衣服や可燃物から離して保管する。．

保管　乾燥した涼しく換気のよい場所に保管すること．適切にラベル表示された容器に保管してください．

## セクション8： 暴露防止および個人保護措置

被ばく限度

| 化学物質名 | Japan REL - Ceiling Limits | 暴露限界値、生物学的暴露指標 |
|---|---|---|
| 1-メチル-1-フェニルエチル＝ヒドロペルオキシド<br>80-15-9 | なし | なし |

工学的制御手段　特に閉め切った場所では十分な換気を確保すること．

個人用保護具
個人用保護具の必要要件は使用者の施設の危険性評価により、それぞれの施設に特有のものである。．

呼吸用保護具　換気が不十分な場合、適切な呼吸保護具を着用する．

| | |
|---|---|
| 手の保護 | 浸透性のない手袋。. |
| 眼の保護 | ゴーグル. |
| 皮膚および身体の保護 | 軽量の保護服。. |
| 衛生対策 | 産業衛生および安全対策規範に従って取り扱うこと. |

環境暴露防止　製品が排水路に入らないようにすること. 物質が地下水を汚染しないようにする。.

## セクション9： 物理的及び化学的特性

一般的な情報

| | | |
|---|---|---|
| 形状 | 液体 | |
| 外観 | 利用可能な情報はない | |
| 臭い | データなし | |
| 臭いのしきい値 | データなし | |
| 沸点 / 沸点範囲 | °C 53 | °F 127.4 |
| 融点/融点範囲 | °C データなし | °F データなし |
| 引火点 | °C 79 | °F 174 |
| 自然発火温度 | °C データなし | °F データなし |
| 酸化特性 | 利用可能な情報はない | |
| 水への溶解度 | 可溶性 | |
| 粘度 | データなし | |

## セクション10： 安定性及び反応性

| | |
|---|---|
| 安定性 | 通常の条件下で安定. |
| 混触危険物質 | 金属. 有機物。. |
| 危険有害な分解生成物 | 二酸化炭素. |
| 重合 | 通常のプロセスではない. |

## セクション11： 有害性情報

急性毒性

| 化学物質名 | LD50 (oral,rat/mouse) | LD50 (dermal,rat/rabbit) | LC50 (inhalation,rat/mouse) |
|---|---|---|---|
| 1-メチル-1-フェニルエチル＝ヒドロペルオキシド | = 382 mg/kg (Rat) | データなし | =220ppm(Rat) |

健康への潜在的な影響

| | |
|---|---|
| 眼 | 眼に重度の傷害を与えるリスクがある. |
| 皮膚 | 皮膚に接触すると有害. 火傷を引き起こす. |
| 吸入 | 吸入すると有毒である. |
| 経口摂取 | 飲み込むと有害. |
| 発がん影響 | 利用可能な情報はない. |
| 変異原性影響 | 利用可能な情報はない. |
| 生殖毒性 | 利用可能な情報はない. |
| 感作 | 利用可能な情報はない. |
| 標的臓器影響 | 肺 |

## セクション12：環境影響情報

| | |
|---|---|
| 生態毒性 | 利用可能な情報はない. |
| 急性水性毒性 | 区分 2. |

| | |
|---|---|
| 慢性水生毒性 | 区分 2. |
| 移動性 | 利用可能な情報はない. |
| 生物分解 | 利用可能な情報はない. |
| 生物蓄積 | 利用可能な情報はない. |

## セクション13： 廃棄上の注意

現地の法規に従って内容物/容器を廃棄すること.

## セクション14： 輸送上の注意

IATA

| | |
|---|---|
| 正式輸送品目名 | Organic peroxide, type F, liquid (Cumyl hydroperoxide) (Cumene hydroperoxide) |
| 危険有害性クラス | 5.2 |
| サブクラス | 8 |
| 包装等級 | II |
| 国連番号 | 3109 |

## セクション15： 適用法令

法規制一覧

適合する.

| 化学物質名 | 労働安全衛生法 | 化学物質排出把握管理促進法（PRTR 法） | 毒物及び劇物取締法 | 消防法 |
|---|---|---|---|---|
| 1-メチル-1-フェニルエチル＝ヒドロペルオキシド | Explosive substance Organic peroxides | >=1% | リストアップされていない | Group 5 - Self-reactive materials I (Rank for mixture is II, listed under Organic peroxides) |

| 化学物質名 | 重量パーセント | Japan - Chemical Substance Control Law (CSCL) |
|---|---|---|
| 1-メチル-1-フェニルエチル＝ヒドロペルオキシド | 60-100 | Non-biodegradable/Low bioconcentration |

| 化学物質名 | 重量パーセント | 大気汚染防止法 |
|---|---|---|
| 1-メチル-1-フェニルエチル＝ヒドロペルオキシド | 60-100 | 400 - 60000 |

| 化学物質名 | 重量パーセント | 日本 - 消防法 - 通知を要求する材料の指定 |
|---|---|---|
| 1-メチル-1-フェニルエチル＝ヒドロペルオキシド | 60-100 | 10kg TQ 100 kg TQ for a mixture product Class 1 Self-reactive materials |

## セクション16： その他の情報

15章に特に記載がない場合、本製品は次の法規制には非該当となります. 消防法、毒物及び劇物取締法、化学物質排出把握管理促進法（PRTR 法）、労働安全衛生法、化学物質の審査及び製造等の規制に関する法律、化学兵器禁止法、水質汚濁防止法、大気汚染防止法、麻薬および向精神薬取締法、覚せい剤取締法、大麻取締法.

改定理由　　（化学物質等）安全性データシートの内容を更新.

研究上の使用のみ
. 人間または動物の診断上または治療上の使用は意図されていない.

上記情報は、詳細な検索および/または調査によって得られたものであり、推奨する情報は専門家の判断に基づいています。当製品の安全情報データは全ての情報を網羅しているわけではなく、指針としてのみ利用されるものです。全ての原材料および混合物は、危険有害物質である可能性があるため、取扱いには充分な注意を必要とします。使用、容量、および条件は当社の管理対象外であり、当製品の取扱いによるいかなる損害に対しても、当社が責任を負うものではありません。本SDSの情報は、明示保証および商品性の黙示保証を含むいかなる黙示保証をも行うものではありません。

以上